

財務省第5入札等監視委員会  
令和6事務年度 第4回定例会議 審議概要

開催日及び場所		令和7年6月19日 東京港湾合同庁舎10階 税関会議室	
委員		委員長 藤 重 由美子 (東京八丁堀法律事務所・弁護士) 委 員 尾 形 祥 (早稲田大学・教授) 委 員 鈴 木 昌 治 (鈴木昌治公認会計士事務所・公認会計士)	
審議対象期間		令和7年1月1日(水)～令和7年3月31日(月) (審議対象期間における実績僅少のため、令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)を対象期間とした。)	
抽出事案		4件	(備考)
1	一般競争入札 (物品役務等)	1件	契 約 件 名 : 令和6年度 輸出品販売場制度における税関等業務に係る モバイル環境用機器等の借入及び保守運用等 一式 契約相手方 : エヌ・ティ・ティ・データ・カスタマサービス株式会社 (法人番号6010601032609) 契 約 金 額 : 1,004,243,900円 契約締結日 : 令和7年1月31日 担 当 部 局 : 東京税関
2	一般競争入札 (物品役務等)	1件	契 約 件 名 : 横浜税関の自動車保守管理業務に係る請負契約 一式 契約相手方 : オリックス自動車株式会社 (法人番号7010401056220) 契 約 金 額 : 8,832,040円 契約締結日 : 令和6年4月1日 担 当 部 局 : 横浜税関
3	一般競争入札 (物品役務等)	1件	契 約 件 名 : 令和6年度(補正予算) ボディスキャナーの調達 15式 契約相手方 : 日本エアロスペース株式会社 (法人番号5010401053632) 契 約 金 額 : 500,775,000円 契約締結日 : 令和7年3月26日 担 当 部 局 : 東京税関
4	一般競争入札 (公共工事)	1件	契 約 件 名 : 横浜税関本関庁舎他1ヶ所個別空調機更新等工事 一式 契約相手方 : 株式会社玉川設備 (法人番号5020001069598) 契 約 金 額 : 199,980,000円 契約締結日 : 令和7年3月13日 担 当 部 局 : 横浜税関
応札(応募)業者数 1者関連		3件	契 約 件 名 : 令和6年度 輸出品販売場制度における税関等業務に係る モバイル環境用機器等の借入及び保守運用等 一式 契 約 件 名 : 横浜税関の自動車保守管理業務に係る請負契約 一式 契 約 件 名 : 横浜税関本関庁舎他1ヶ所個別空調機更新等工事 一式
委員からの意見・質問、それに対する回答等		別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	

意 見 ・ 質 問	回 答
<p><b>【事案１】</b></p> <p>契 約 件 名：令和６年度 輸出物品販売場制度における税関等業務に係るモバイル環境用機器等の借入及び保守運用等 一式</p> <p>契約相手方：エヌ・ティ・ティ・データ・カスタマサービス株式会社 (法人番号6010601032609)</p> <p>契 約 金 額：1,004,243,900円</p> <p>契約締結日：令和７年１月31日</p> <p>担 当 部 局：東京税関</p> <p><b>《抽出にあたり委員からの事前確認》</b></p> <p>契約の概要について</p> <p>1 者応札となった要因</p> <p>高落札率（98.3%）となった要因</p> <p><b>《委員からの質問・意見》</b></p> <p>こちらのシステムはどのような目的で調達されているのでしょうか。旅客が購入した免税品を海外に持ち出していることを確認するためのものでしょうか。</p>	<p><b>《担当部局からの事前説明》</b></p> <p>免税店において外国人旅行者等に対して免税対象物品を一定の手続で販売する場合には消費税が免除される制度のもと、国税庁では免税品購入対象者が出国に際して税関に対し旅券等を提示した時に、該当する購入記録情報を税関に提供するシステムの構築・運用を行っており、令和元年に税関では当該システムから免税品購入記録情報の提供を受けるために必要なモバイル環境用機器等の借り入れ及び保守契約を締結しております。</p> <p>また、令和６年度に再リースの契約を締結し現在使用しておりますが、老朽化が進んだことから、モバイル環境用機器等を更新することとなりました。</p> <p>令和元年に今回と同様の調達を実施しており、3 者応札となっていました、今回は1 者応札となっております。</p> <p>他社が応札しなかった理由は、クラウドサービスにおける端末管理サーバの構築が難しいことや、他の業務の履行状況との兼ね合いから応札しなかったのではないかと思料されます。</p> <p>落札者が一度目の入札で予定価格を下回ることが出来ず、再度入札の上で落札に至ったため、高落札率となったと考えられます。</p> <p><b>《担当部局からの回答》</b></p> <p>ご認識のとおりです。旅客の免税品の購入記録を確認して、所持していない場合は徴税することとなります。</p>

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>今後リファンド方式に移行しますが、移行後も本機器は使用するのでしょうか。</p> <p>機器の更新のタイミングをリファンド方式の開始に合わせなかったのはなぜですか。</p> <p>国税庁と分担で契約していますが、金額の根拠を教えてください。</p> <p>契約書の書き出しの部分に「賃貸させることにより」と書いてありますが、何を賃貸させるのか目的語が明記されておりません。記載方法について検討が必要かと思います。</p> <p>今回は三者契約となっておりますが、例えば仕様書22頁に記載されている「案件責任者」は乙と丙のどちらに求めるもののでしょうか。</p> <p>リファンド方式になった場合、旅客は手続きを行わないと税金が返ってこないことになりませんが、税関として周知はするのでしょうか。</p> <p>リース期間が41か月の理由を教えてください。</p> <p>回線のセキュリティはどのように確保していますか。</p> <p>【事案2】          契 約 件 名：横浜税関の自動車保守管理業務に係る請負契約 一式          契約相手方：オリックス自動車株式会社          (法人番号7010401056220)          契 約 金 額：8,832,040円          契約締結日：令和6年4月1日          担 当 部 局：横浜税関</p>	<p>移行後も引き続き使用いたします。</p> <p>現在使用している機器は令和元年に調達しているものであり老朽化が進んでいるため、機器の更新をリファンド方式に先行して行いました。</p> <p>国税庁に納品される機器の台数の割合に応じた金額を積算しております。</p> <p>検討させていただきます。</p> <p>今回の契約では乙に求めるものとなります。</p> <p>基本的には購入時に販売店が周知することになるかと思います。</p> <p>本件は5年間の国庫債務負担行為に基づく契約となり、令和6年度の契約であるため、最長で令和10年度末の令和11年3月31日までのリースが可能となります。そこから準備に必要な期間を差し引いて、残りの41か月をリース期間と致しました。</p> <p>通信事業者が提供する閉域IPネットワークを介して拠点間の通信を安全に行うためのネットワークサービスであるIP-VPN回線を使用することにより、高いセキュリティと通信の安定性を確保しています。</p>

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>《抽出にあたり委員からの事前確認》 契約の概要について</p> <p>1 者応札となった要因</p> <p>低落札率となった要因</p> <p>《委員からの質問・意見》 仕様書上、「自動車損害賠償保険料は、必要な都度、随時払いとする」とあるが、車検の都度、支払を行っているのですか。</p> <p>タイヤは単価契約となっていますが、仙台の車両は冬になると、スタッドレスタイヤを購入しているのですか。</p> <p>調達を県ごとに分ければ応札者が増えるのではないのでしょうか。</p> <p>応札者増加のために、何か取り組んでいることはありますか。</p>	<p>《担当部局からの事前説明》 横浜税関が保有する 102 台の保守管理対象自動車に対して、1 年間の点検整備及び維持管理を行う契約となっています。具体的な契約内容としては、定期点検整備として 6 か月、12 か月点検や車検などの法定点検に加え、オイル交換や劣化したワイパーブレード等の消耗品の交換、故障などにより自力走行ができない場合にレッカー移動を依頼するなどとなっています。</p> <p>なお、パンク修理及びタイヤ交換については、単価契約を行い、各月毎に取りまとめ、各項目に契約単価を乗じて得た額を支払っています。</p> <p>過去に応札実績のある者は、現在は官公庁との契約はしていないとのことで不参加となっていること、また、本調達は関東地域から東北地域までの広範囲にわたり車両の保守整備を行える者が限られることから、1 者応札になったと思料されます。</p> <p>本件の予定価格については、複数者に見積依頼し、提出のあった者の見積価格を採用したものです。低落札率となった要因としては、一般競争入札による競争性と企業努力が働いたものと思料されます。</p> <p>《担当部局からの回答》 車検を実施した車両がある月は、1 ヶ月分をまとめて支払っています。</p> <p>雪が降る、路面凍結の恐れがある地域の車両はスタッドレスタイヤを装備しているため、整備工場にてタイヤの履き替えを行っています。</p> <p>その他の地域の車両でも、遠方まで走行可能性がある車両にはスタッドレスタイヤを装備しています。</p> <p>横浜税関の車両は 6 県 30 ヶ所に分散しています。応札者が増えるであろうブロックごとに分けると、契約件数が多くなり、契約、事務処理が複雑になるため、現時点では分けることは考えていません。</p> <p>自動車保守業務を行っている会社の調査、聞き取りを行っています。仕様書のどこを見直し変更すれ</p>

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>【事案3】            契 約 件 名：令和6年度（補正予算）ボディスキヤナーの調達 15式            契約相手方：日本エアロスペース株式会社            （法人番号5010401053632）            契 約 金 額：500,775,000円            契約締結日：令和7年3月26日            担 当 部 局：東京税関</p> <p>《抽出にあたり委員からの事前確認》            契約の概要について</p> <p>低落札率となった要因</p> <p>《委員からの質問・意見》            今回の調達にあたって、納品される機器は想定していたものだったのでしょうか。</p> <p>検査の対象は金でしょうか。</p> <p>照射される電波は安全なものでしょうか。</p> <p>機器はアメリカ製のようにですが、アメリカ国内での販売価格がわかるものはありますか。</p> <p>追加購入の予定はありますか。</p>	<p>ば、また、いくつかのブロックに分ければ複数者の参加が見込めるかについては継続して調査しています。</p> <p>《担当部局からの事前説明》            昨今の訪日外国人旅行者数の急回復や金価格の高騰等を受け、金密輸の摘発件数・押収量が急激に増加していることから、航空旅客等の金等の密輸に対応するため、旅客等の全身にわたって異物を検出することが可能なボディスキヤナー15式を、全国の主要な空港に新規配備するものとなります。</p> <p>今回は複数応札となっており、それぞれが競合他社の存在を意識した結果、競争原理が働き、結果として低い落札率となったものと思われます。</p> <p>《担当部局からの回答》            仕様書を作成する段階で今回納品される機器は認識しておりました。納品される機器の旧型は国内の空港の保安検査場でも導入されているものとなります。</p> <p>金に限らず、あらゆる異物を探知できるものとなります。</p> <p>総務省が定める「電波防護指針」の基準値を下回ることを仕様書で定めていますので、人体への影響はなく安全性が担保されております。</p> <p>現地販売価格を把握できる資料は確認しておりません。</p> <p>現時点では未定となっております。</p>

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>どのぐらいの期間の使用を想定していますか。</p> <p>無償保証終了後の保守はどのような想定ですか。</p> <p>今回2者応札していますが、それぞれの応札者が提案する機器のスペックに差はあったのでしょうか。</p> <p>【事案4】          契 約 件 名：横浜税関本関庁舎他1ヶ所個別空調機更新等工事 一式          契約相手方：株式会社玉川設備          （法人番号5020001069598）          契 約 金 額：199,980,000円          契約締結日：令和7年3月13日          担 当 部 局：横浜税関</p> <p>《抽出にあたり委員からの事前確認》          契約の概要について</p> <p>1者応札となった要因</p> <p>高落札率（99.7%）となった要因</p>	<p>最低使用期間は5年間となりますが、5年を超えて使用する可能性もございます。</p> <p>保守契約を締結するか、不具合が発生するたびに随時保守対応とするかは未定ですが、いずれにせよ別契約での対応となります。</p> <p>2機種の性能を比較していないのでわかりかねますが、どちらも仕様書で定めている要件を満たしておりますので、機器の性能としては特段の差は無いものと考えております。</p> <p>《担当部局からの事前説明》          横浜税関本関庁舎及び大黒埠頭出張所において、個別空調機の更新工事及び新設工事を行うものです。本関庁舎の個別空調機は設置から20年が経過し、経年劣化で故障が頻発しているため更新を実施します。また、大黒埠頭出張所は全体空調のうち特に2階部分の不具合が頻発しているため、修理対応をしていたものの、再発のリスクが高いため個別空調機の新設を実施します。</p> <p>室内機の更新または新設の台数が90台と工事規模が大きく、また、本関庁舎においては、室外機の設置場所が限定的であり、かつ、高所に設置する必要があるため作業難易度が高く、さらに、入札公告を行った時期が業界の繁忙期であり、監理技術者の配置が難しいことから、一者応札となったと思料されます。</p> <p>工事規模が大きいため工事が短期間で終了しないことから、管理費を圧縮することが難しいこと、また、空調機器の値引率を反映したことにより市場実態に近い予定価格となったことが高落札の要因</p>

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>《委員からの質問・意見》</p> <p>室外機を高所に設置する作業があることで応札者が減少してしまうのは何故ですか。</p> <p>繁忙期を避けて入札することは検討しなかったのですか。</p> <p>受注者以外の業者から問い合わせはありましたか。</p>	<p>と思料されます。</p> <p>《担当部局からの回答》</p> <p>室外機は重いもので300kg以上の重量物であるため、手作業で荷揚げすることは困難です。また、室外機設置場所がフォークリフトの出入りができない場所であり、荷揚げの方法を工夫する必要があることから、作業難易度が高いためです。</p> <p>年度の後半で予算措置されたため、入札実施時期を調整することができませんでした。</p> <p>数件の問い合わせがありましたが、入札への参加はありませんでした。問い合わせのあった業者に入札に参加しなかった理由を確認したところ、監理技術者の配置が困難であることから参加できなかったと回答がありました。</p>